

Manage **OZO3**

ColdFusion2021 バージョンアップマニュアル

初版

商標について

Adobe、Adobe ロゴ、ColdFusion、Flash および Flex は、アドビ システムズ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Access、SQL Server、Internet Explorer、IIS、及び Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

著作権について

本マニュアルのいかなる部分も、当社の書面による明示的な同意なしに、電気的手段、機械的手段、また写真複写及び記録装置によるいかなる手段においても、購入者の個人目的以外に複製及び転写する事はできません。

改編履歴

初版 2022年10月12日

<u>1</u>	<u>ColdFusion2021 バージョンアップ</u>	<u>4</u>
<u>2</u>	<u>事前確認事項 ※必ずお読みください※</u>	<u>5</u>
2.1	バージョンアップ作業の事前連絡	5
2.2	バージョンアップの作業予定時間	5
2.3	バージョンアップ環境の確認	6
2.3.1	バージョンアップ前の確認	6
2.3.2	バージョンアップ前の準備	7
2.3.3	ColdFusion 2021 のライセンス取得について	7
<u>3</u>	<u>バージョンアップの前作業</u>	<u>8</u>
3.1	ColdFusion の設定資料を用意する	8
3.2	ColdFusion2018 のサービス停止	9
3.3	ColdFusion 設定ファイルのバックアップ	11
3.4	Web サーバーコネクタの削除	11
3.5	Web サーバーの再起動	11
<u>4</u>	<u>ColdFusion2021 のインストール</u>	<u>12</u>
4.1	ColdFusion のインストール	12
4.2	ColdFusion 設定の移行	19
4.3	追加の手動設定	21
4.4	ColdFusion 「presentation」 パッケージのアンインストール	24
4.5	ColdFusion Update の実行	25
4.6	ColdFusion Update の実行（手動）	28
4.7	ColdFusion と IIS とを接続する	32
4.8	ColdFusion サービスのログオンアカウント設定	33
4.9	ManageOZO3 へのアクセス確認	35
<u>5</u>	<u>ライセンスの登録</u>	<u>36</u>
5.1	ライセンスの登録	36
<u>6</u>	<u>ColdFusion2018 の削除</u>	<u>38</u>
6.1	ColdFusion2021 サービスの停止	38
6.2	ColdFusion2018 の一時フォルダーの削除	39
6.3	ColdFusion2018 のアンインストール	39
6.4	ColdFusion2018 のフォルダーの削除	40
6.5	Web サーバーの再起動	40
6.6	ColdFusion2021 サービスの起動	40
<u>7</u>	<u>動作確認</u>	<u>41</u>
7.1	ManageOZO3 へのアクセス確認	41
7.2	スケジュールの再登録	41

8	<u>トラブルシューティング</u>	42
8.1	ColdFusion2021 インストール後から ManageOZO3 が表示されない	42
8.1.1	HTTP エラー404.3-Not Found の場合	42
8.1.2	Service Temporarily Unavailable の場合.....	42
8.2	問題解決できない場合	43

1 ColdFusion2021 バージョンアップ

本書は ManageOZO3 が稼働している環境で「ColdFusion2018」から「ColdFusion2021」にバージョンアップを行う手順について説明します。

なお、当マニュアルでは、下記エディションでの設定方法について説明しています。

Windows Edition

Windows Server 2019

SQL Server Edition

Microsoft SQL Server 2019

※Microsoft SQL Server 2012 には対応していないため先に Microsoft SQL Server 2014 以上へバージョンを上げてから行ってください。

2 事前確認事項 ※必ずお読みください※

2.1 バージョンアップ作業の事前連絡

バージョンアップ作業中は、ManageOZO3 を停止する必要があります。

バージョンアップ作業中は、ManageOZO3 の利用を控えて頂く事を、事前に社内連絡する必要があります。

ManageOZO3 での事前連絡に関しましては、ManageOZO3 のログインメッセージ設定をご利用いただけます。

具体的な操作方法については、下記マニュアルをご参照ください。

【Manage クラウド ログインメッセージ設定マニュアル】

2.2 バージョンアップの作業予定時間

バージョンアップ作業時間の目安は、下記の通りです。

注意 環境等により、作業時間は前後します。

手順	作業予定時間
1 バージョンアップ前作業	25 分
2 ColdFusion 2021 のインストール	10 分
3 ColdFusion の設定移行	10 分
4 ColdFusion 2021 アップデート	20 分
5 ColdFusion と Web サーバーの 接続設定	10 分
6 ライセンスの登録	10 分
7 ColdFusion 2018 の削除	15 分
8 動作確認	15 分
予定時間合計: 1 時間55分	

2.3 バージョンアップ環境の確認

Web サーバーでバージョンアップ作業を行います。
サーバーへのログイン情報を社内サーバー管理者に事前にご確認下さい。

2.3.1 バージョンアップ前の確認

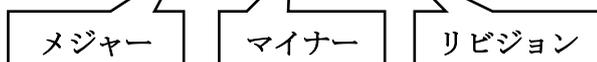
1. 「ManageOZO3」の現在のバージョンを確認します。

現在のバージョンは、ManageOZO3 のログイン画面から確認ができます。



ManageOZO3 X.XX.X @ 2019 ITCS Co. Ltd

上記の「X . XX . X」の部分が、バージョンを示しています。



注意 Coldfusion2021 は ManageOZO3 のバージョン 3.28.0 以降から対応しています。
※3.28 以前のバージョンの場合は別紙「ManageOZO3 バージョンアップマニュアル」に従い、ManageOZO3 をバージョン 3.28.0 以降にアップデートしてから行ってください。

2.3.2バージョンアップ前の準備

項目	説明
ColdFusion2021 バージョンアップマニュアル	本書です。
ColdFusion_2021_WWEJ_win64.exe	ColdFusion 2021のインストールファイルです。
ColdFusion 2021 ライセンス情報	ColdFusion 2021のシリアル番号が必要です。 詳細は「ColdFusion 2021 ライセンス取得について」を参照ください。
現行の設定資料	ColdFusion 2018の設定要約と JVMパラメーター詳細は 「3.1ColdFusionの設定資料を用意する」を参照ください。
インターネット接続環境	ColdFusion のセキュリティ更新時に必要です。
ManageOZO3 ライセンス証書	各アプリケーションの登録に必要です。 本書の「5 ライセンスの登録」に利用します。

2.3.3 ColdFusion 2021 のライセンス取得について

ColdFusion 2018 を購入されている場合は、ColdFusion 2021 ライセンスの取得権を有している場合があります。

Adobe 社が提供している以下のサイトにログインしてご確認ください。

<https://licensing.adobe.com/>

パスワードを忘れた場合はログイン画面下の「パスワードをリセット」リンクからパスワードを設定ください。

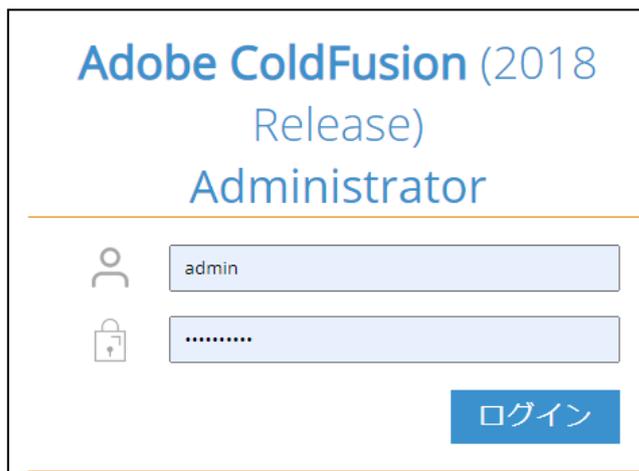
ライセンスが取得できない・担当が変わったなどライセンス状況が、ご不明な場合は購入先までお問合せください。

3 バージョンアップの前作業

3.1 ColdFusion の設定資料を用意する

ColdFusion 2018 をセットアップした時の設定シートやパラメーター表等の資料があればご準備ください。これらの資料は手動で再設定する項目やトラブル時に参照します。

設定資料は、以下の手順で取得可能です。



- ① ブラウザから以下のアドレスを開いて、ColdFusion の管理画面にログインします。

<http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/>

▶ ユーザー名： admin

▶ パスワード： Admin_1995

※ポート指定を行っていない場合は下記のアドレスからログインしてください。

<http://127.0.0.1/CFIDE/administrator/>



- ② サーバーの設定 > 設定要約を表示します。

「PDF として保存」ボタンをクリックして、ダウンロードされたファイルを保存します。

サーバーの設定

設定 リクエストの調整 キャッシュ機能 クライアント数 メモリ数 マッピング メール スケジュールされたタスク WebSocket チャー
ドキュメント Java と JVM 設定要約

変更の送信

java 仮想マシン (JVM) の位置を指定します。

最小 JVM ヒープサイズ (MB) 最大 JVM ヒープサイズ (MB)

メモリサイズ設定により、JVM がプログラムとデータに使用するメモリ量が決まります。

ColdFusion クラスパス

```
{application.home}/lib/updates,{application.home}/lib,  
{application.home}/lib/axis2,{application.home}/gateway/lib/  
{application.home}/wwwroot/WEB-INF/cform/jars,  
{application.home}/wwwroot/WEB-INF/flex/jars,{application.home}/lib/oosdk/lib,  
{application.home}/lib/oosdk/classes
```

JVM 用の追加クラスパスを指定します。複数のディレクトリを指定する場合はカンマで区切ります。

JVM 引数

```
-server --add-opens=java.rmi.sun.rmi.transport=ALL-UNNAMED --add-  
opens=java.base/java.nio=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/java.lang=ALL-  
UNNAMED --add-opens=java.base/sun.util.cldr=ALL-UNNAMED --add-  
opens=java.base/sun.util.locale.provider=ALL-UNNAMED -  
XX:MaxMetaspaceSize=1920m -XX:+UseParallelGC -  
Djdk.attach.allowAttachSelf=true -Dcoldfusion.home={application.home} -
```

特定の JVM 初期化オプションを、スペースで区切って指定します。

③ サーバーの設定 > Java と JVM を表示します。

以下の 4 項目についてメモ帳などにコピーし、保存します。

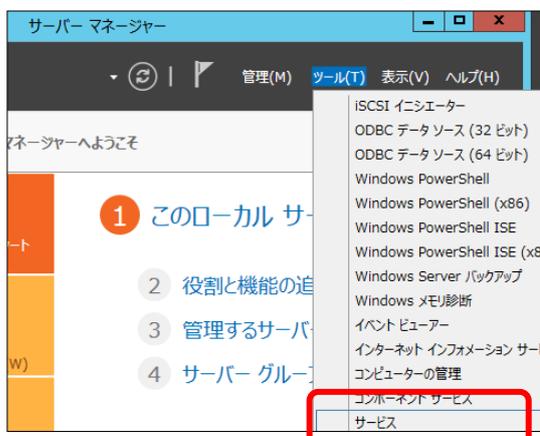
- 最小 JVM ヒープサイズ
- 最大 JVM ヒープサイズ
- ColdFusion クラスパス
- JVM 引数

※「4.3 追加の手動設定」で使用します。

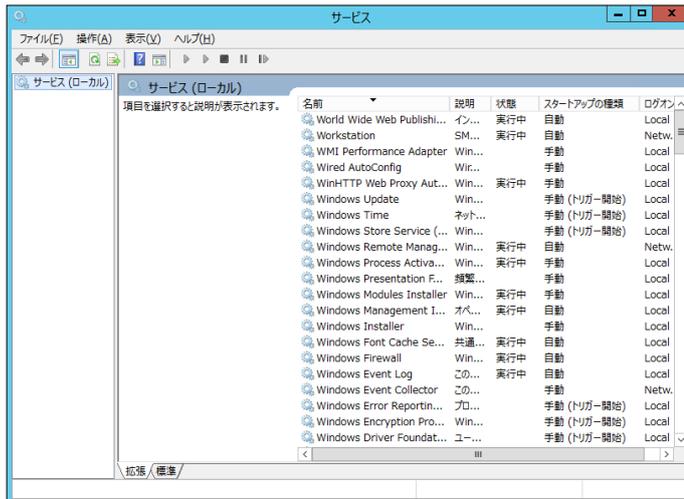
3.2 ColdFusion2018 のサービス停止



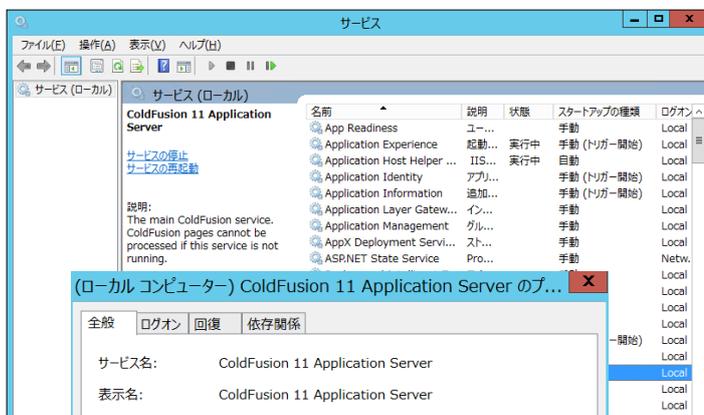
① タスクバーの[スタート]—[管理ツール]—[サーバーマネージャー]をクリックして起動します。



② サーバーマネージャーの[ツール]—[サービス]をクリックします。



③ 「サービス」一覧画面が表示されます。



④ 一覧から「ColdFusion Application Server」を選択し、右クリックからプロパティを開きます。



⑤ 「停止」ボタンをクリックし、サービス状態が停止になるまで待ちます。

⑥ スタートアップの種類を「手動」に変更します。

⑦ 「OK」ボタンをクリックします。

3.3 ColdFusion 設定ファイルのバックアップ

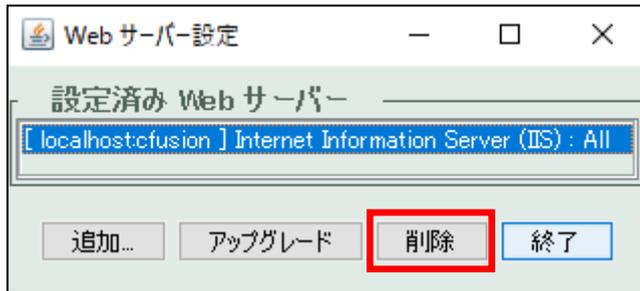
以下の ColdFusion の設定ファイルとフォルダのバックアップを取ります。

- C:\ColdFusion{version}\cfusion\lib フォルダ
- C:\ColdFusion{version}\cfusion\bin\jvm.config ファイル

3.4 Web サーバーコネクタの削除

Web サーバー設定ツールを実行します。

- ① 下記フォルダの「wsconfig.exe」を実行します。
C:\ColdFusion{version}\cfusion\runtime\bin



- ② 「Internet Information Server (IIS): All」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



- ③ 以下のように全ての設定が空になれば、「終了」ボタンをクリックして閉じます

3.5 Web サーバーの再起動

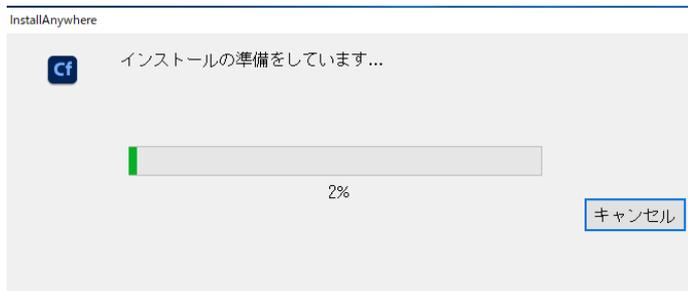
Web サーバーを再起動します。

4 ColdFusion2021 のインストール

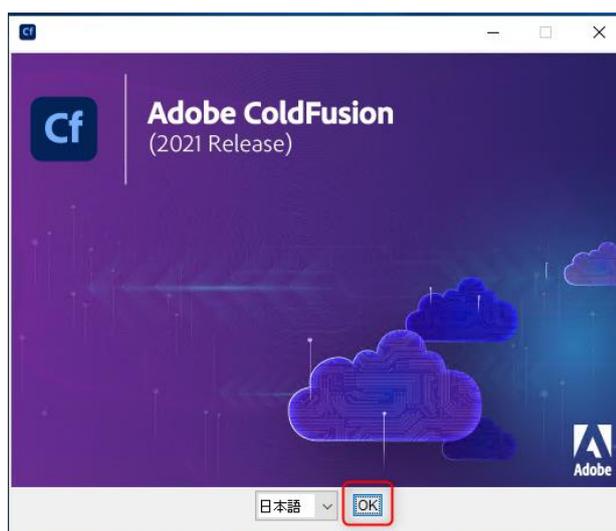
4.1 ColdFusion のインストール



- ④ [ColdFusion_2021_WWEJ_win64.exe]をダブルクリックします。



- ⑤ インストールの準備が始まります。



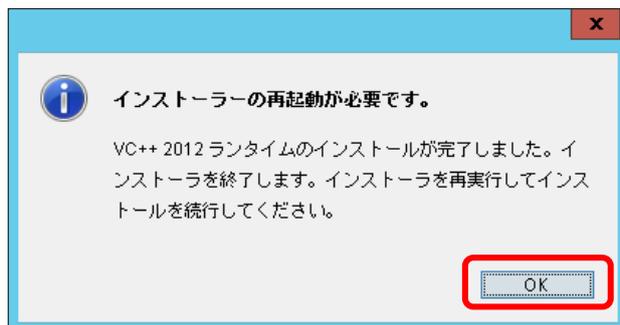
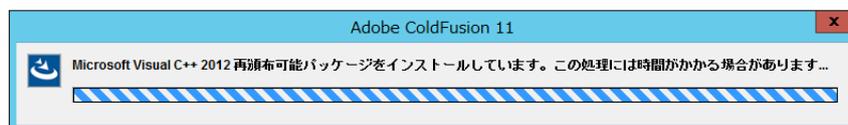
- ⑥ [日本語]を確認し、**OK**をクリックします。



⑦ インストール前のチェックが始まります。

メモ

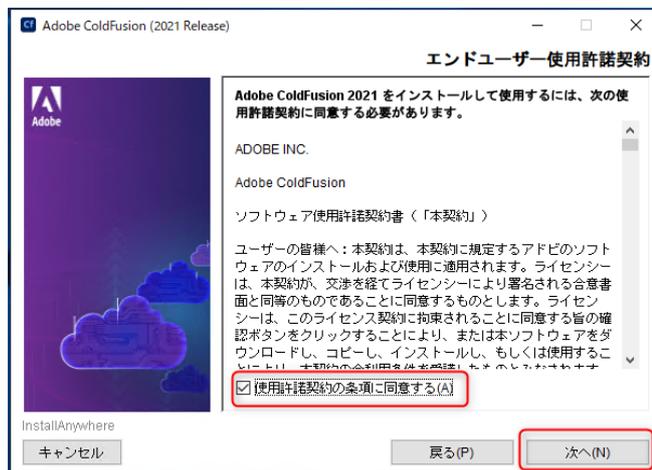
インストール前チェックで、必要なソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。OK をクリックし、必要なソフトウェアインストール後、再度インストーラを実行します。



⑧ **次へ**をクリックします。



⑨ [ご利用条件の条項に同意する]を選択し、**次へ**をクリックします。



⑩ [シリアル番号]を入力し、**次へ**をクリックします。





- ⑪ [サーバーの設定]を選択し、**次へ**をクリックします。



- ⑫ [本番 (デフォルト)]を選択し、**次へ**をクリックします。



- ⑬ [本番スタイル]を選択し、**次へ**をクリックします。



⑭ 下記項目のみ選択し、**次へ**をクリックします。

- .NET Integration Services

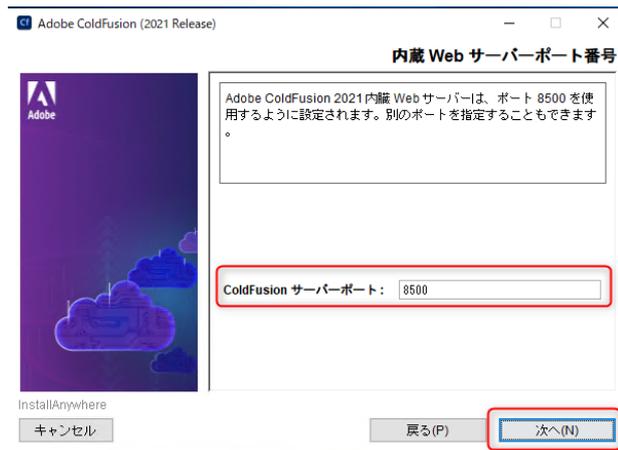


⑮ 全項目を選択し**次へ**をクリックします。

- RDS
- JS デバッグ
- CF レポート
- CFSWF
- Flash フォーム



⑯ インストールディレクトリを確認し、**次へ**をクリックします。



- ⑰ Coldfusion サーバポートは 8500 のまま次へをクリックしてください。[すべての IIS Web サイト]を選択し、**次へ**をクリックします。



- ⑱ **次へ**をクリックします



- ⑲ [パスワードの入力]と[パスワードの確認]に下記を入力し、**次へ**をクリックします。

➤ パスワード : Admin_1995

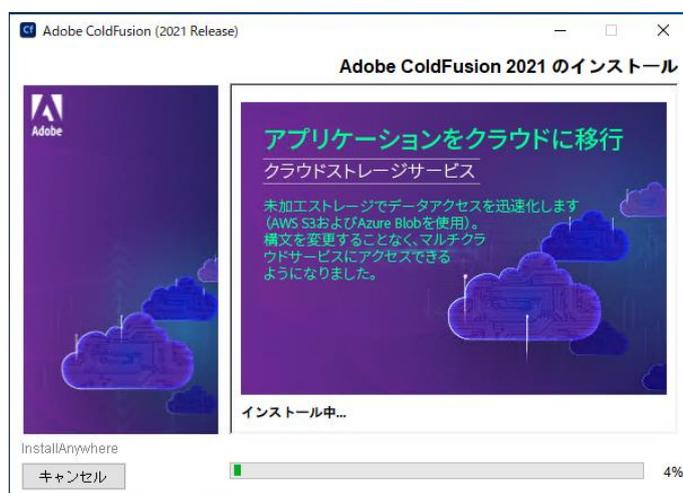
メモ パスワードは、ColdFusionAdministrator 画面の「セキュリティ>Administrator」から変更する事が可能です。



⑳ **次へ**をクリックします。



㉑ **インストール**をクリックします。



㉒ インストールが開始されます。



② インストールが完了します。
完了をクリックします。

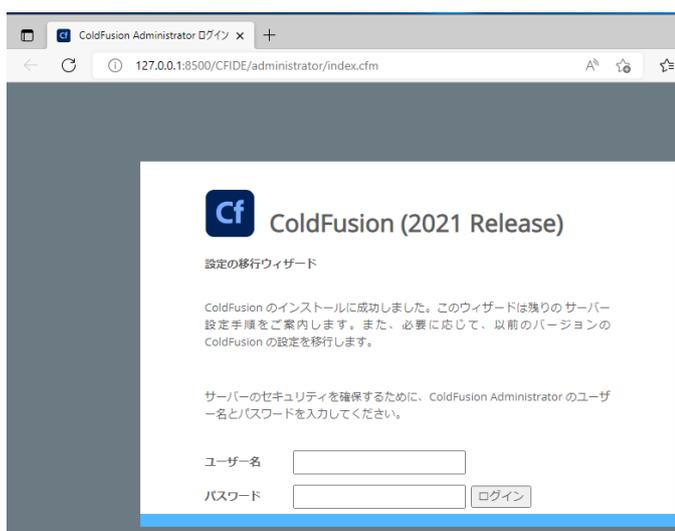
4.2 ColdFusion 設定の移行

ColdFusion のインストール完了後、「完了」ボタンをクリックすると、ColdFusion サーバーの基本的な設定を行う移行ウィザードが表示されます。

移行ウィザードは、インストール完了画面内の「デフォルトブラウザで設定ウィザードを起動」にチェックが入っている場合のみ表示されます。

チェックを入れなかった場合は、手でブラウザを起動し、以下のアドレスにアクセスします。

<http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/>



① ColdFusion 設定ウィザード]画面が表示されます。

パスワードに下記を入力し、ログインをクリックします。

➤ ユーザー名： admin

➤ パスワード： Admin_1995



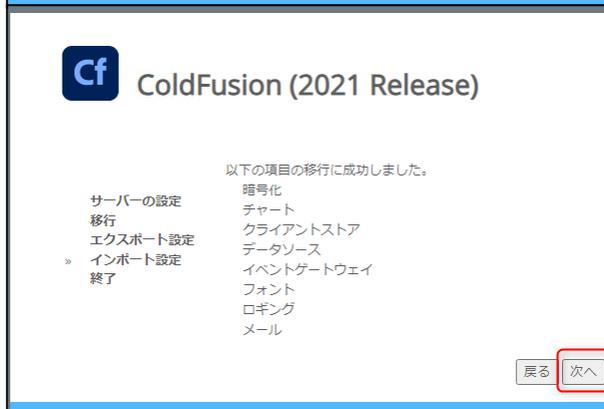
② 移行ウィザードにログインすると、サーバーの設定が行われます。



③ サーバーの設定のインポートが行われます。



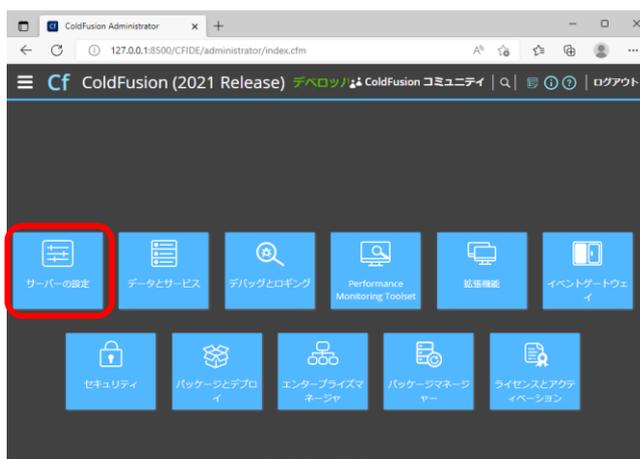
④ サーバーの設定のエクスポート、インポートが行われます。





⑤ **OK**をクリックします。

4.3 追加の手動設定



① 追加の手動設定を行います。「サーバーの設定」画面を表示し、「設定」をクリックします。



② 最大バッファサイズ設定を変更します。

➤ 4096 KB



③ エグゼキュータープール設定を変更します。

- コアプールサイズ : 10
- 最大プールサイズ : 10

④ **変更の送信**をクリックします。



⑤ 「Java と JVM」をクリックします。本書「はじめに」で用意した「JVM パラメーター」の値を再設定します。

- 「最小 JVM ヒープサイズ」に最小 JVM ヒープサイズ値を入力します。
- 「最大 JVM ヒープサイズ」に最大 JVM ヒープサイズ値を入力します。

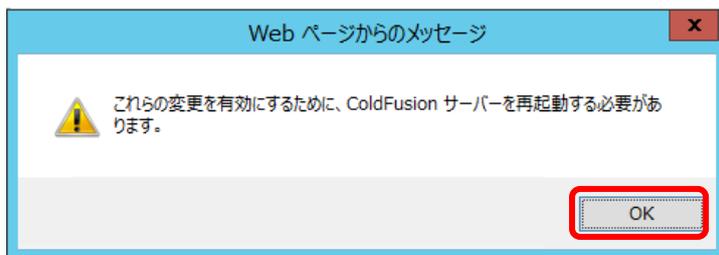
⑥ ColdFusion クラスパスのメモした内容を追記する。

- ※先頭にカンマを付けること
- 例 : ,E:¥ManageOZO3¥ozo¥CustomTags¥lib,E:¥Manag eOZO3¥ozo¥lib
- を設定の最後に追記する。





- ⑦ JVM 引数の内容追加
「 -XX:MaxMetaspaceSize=
1920m 」
- ⑧ 変更の送信をクリックします。



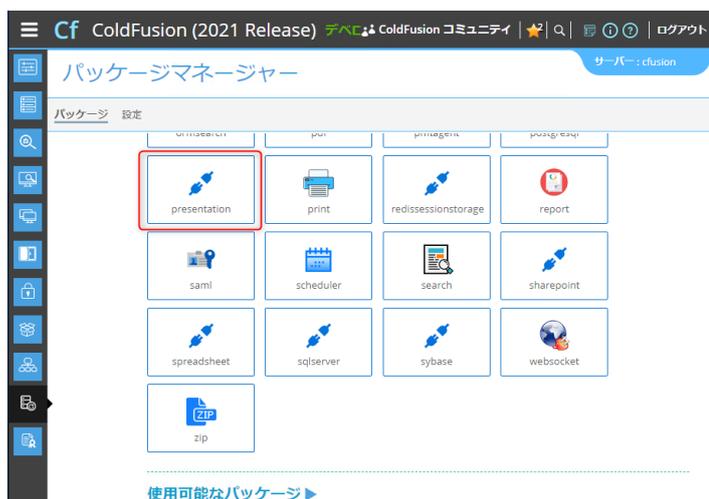
- ⑨ OK をクリックします。

注意 JVM 引数変更後、変更内容によっては ColdFusion サービスが起動しない場合があります。ColdFusion サービスが起動していないため、本画面から設定を再変更する事ができません。ColdFusion インストールフォルダ¥cfusion¥bin の配下にある jvm.config を開き、編集前の内容に変更し直す必要があります。また、編集前のファイルが、jvm.bak として保持されておりますので、編集前の内容を参照する事が可能です。

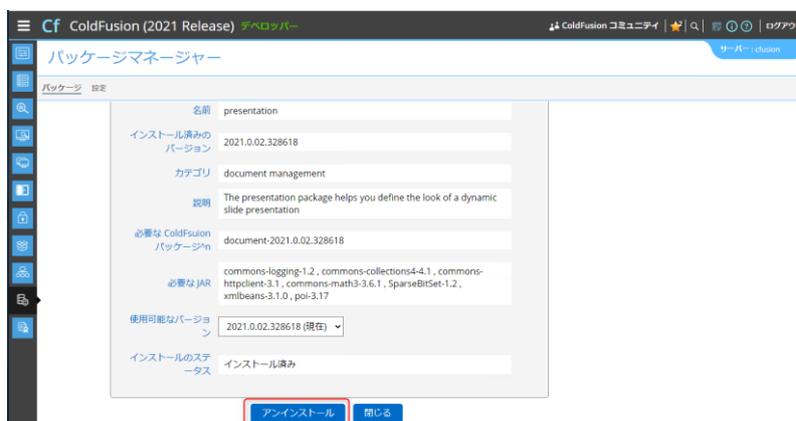
4.4 ColdFusion 「presentation」パッケージのアンインストール



- ① 「パッケージマネージャー」画面を表示し、「パッケージ」から「インストール済みのパッケージ」を開きます。



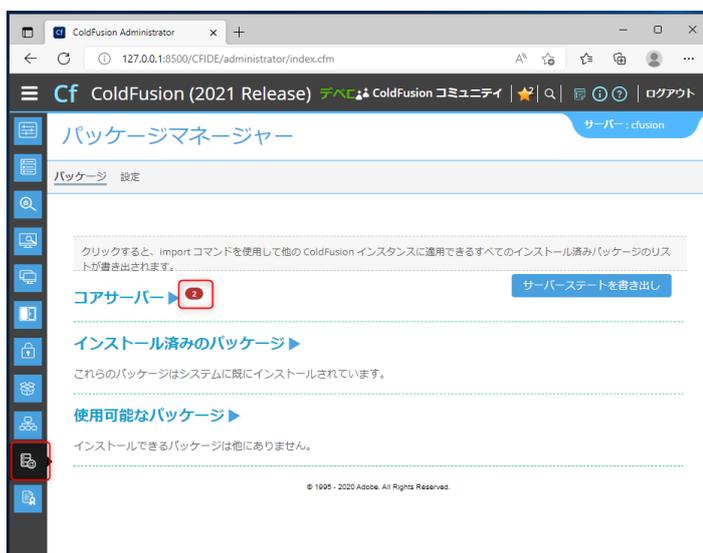
- ② 「presentation」パッケージがインストールされている場合、クリックします。



- ③ 「アンインストール」ボタンをクリックします。

4.5 ColdFusion Update の実行

ColdFusionAdministrator 画面から最新バージョンへ更新します。



- ① メニュー内の[パッケージマネージャー]からコアサーバーをクリックします

メモ コアサーバーの横に数字が表示されている場合、アップデート情報が存在します。

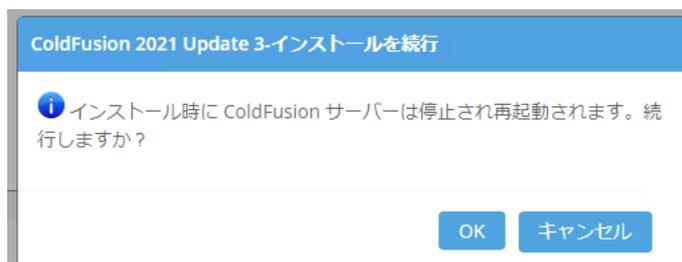
- ② 使用できる最新のアップデート情報が存在する場合は、アップデートの情報が表示されます。

メモ 表示されない場合は、使用できるアップデートが存在しません。

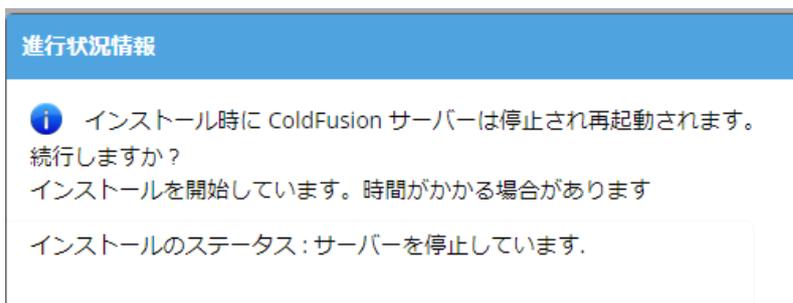
メモ プロキシサーバーが設定されていると、対象無しと表示される場合があります。一時的にプロキシサーバーの設定を解除してご対応下さい。



- ③ **ダウンロードしてインストール** をクリックします。

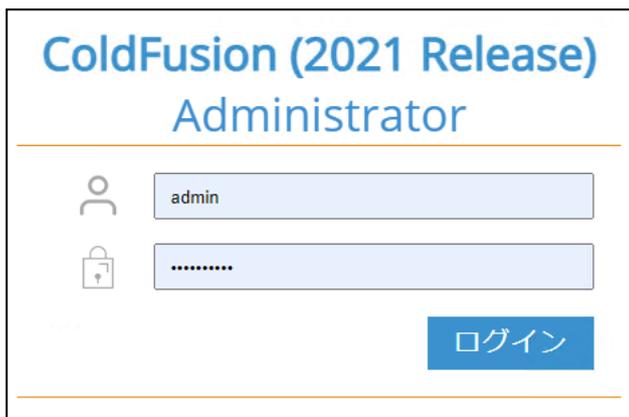


- ④ インストールの間に、「ColdFusion サーバーは停止されて再起動されます。」のメッセージが表示されます。**OK** をクリックします。



- ⑤ インストールが始まります。

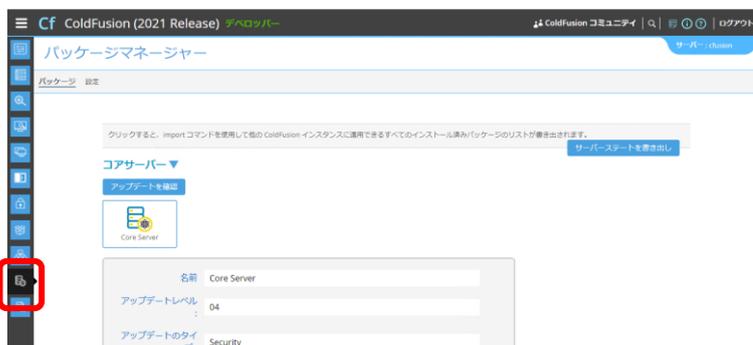
- ⑥ 再起動に関するメッセージが表示された場合は **OK** をクリックし、画面右上部の **ログアウト** をクリックします。



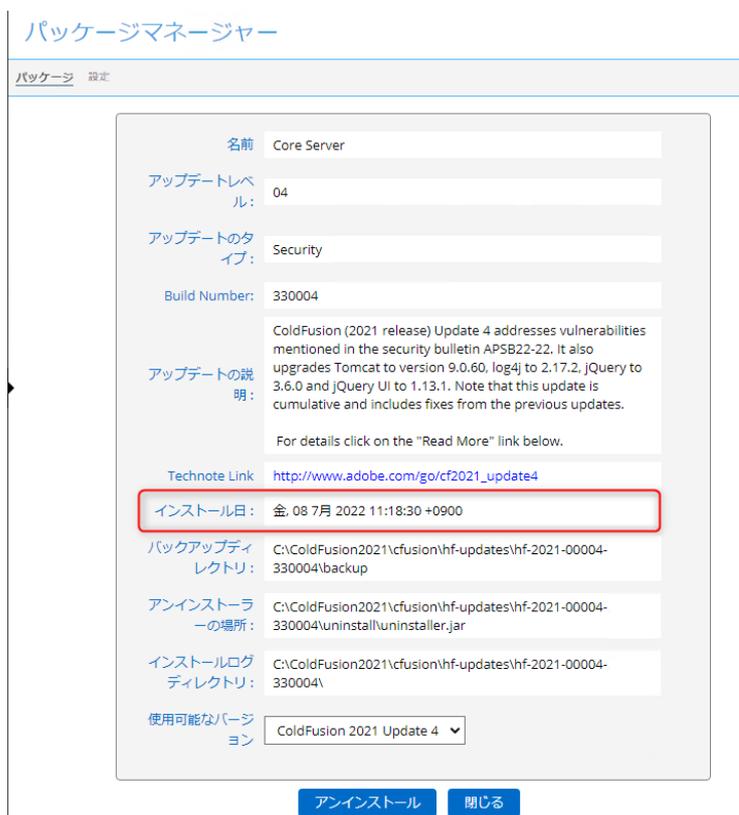
- ⑦ ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

➤ユーザー名： **admin**
 ➤パスワード： **Admin_1995**

メモ アップデート中に、ColdFusion サービスが再起動しており、直ぐにログインできない場合があります。1～3 分後に再度ログインをお試し下さい。



- ⑧ メニュー内の[パッケージマネージャ]をクリックし、メニューを展開します。

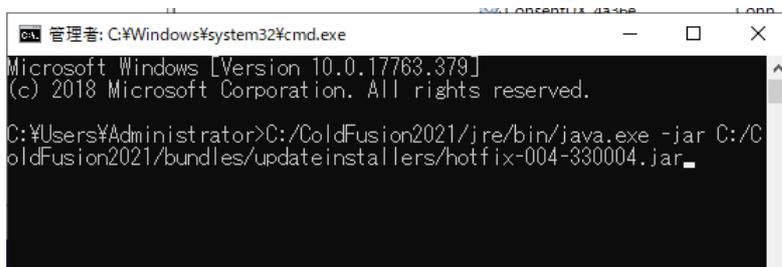


- ⑨ インストールしたアップデート内容が表示されることを確認します。

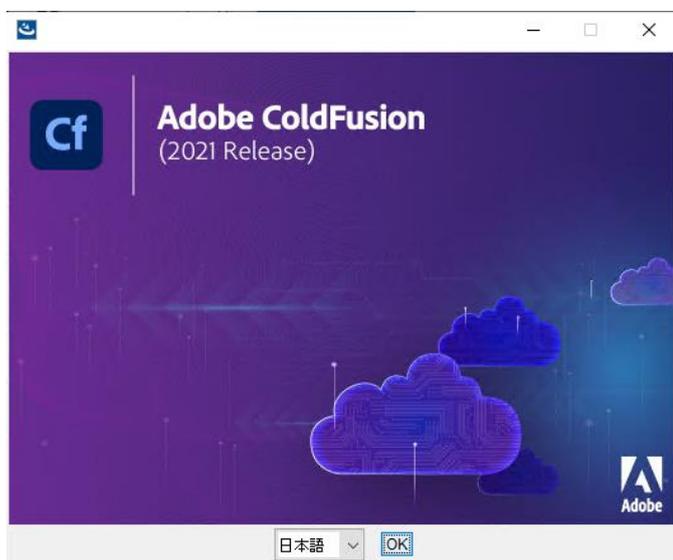
4.6 ColdFusion Update の実行（手動）

コマンドプロンプトから ColdFusion を最新バージョンに更新します。

- ① インストール CD 中の <hf-updates> を C:\ColdFusion{version}\cfusion の配下に置く



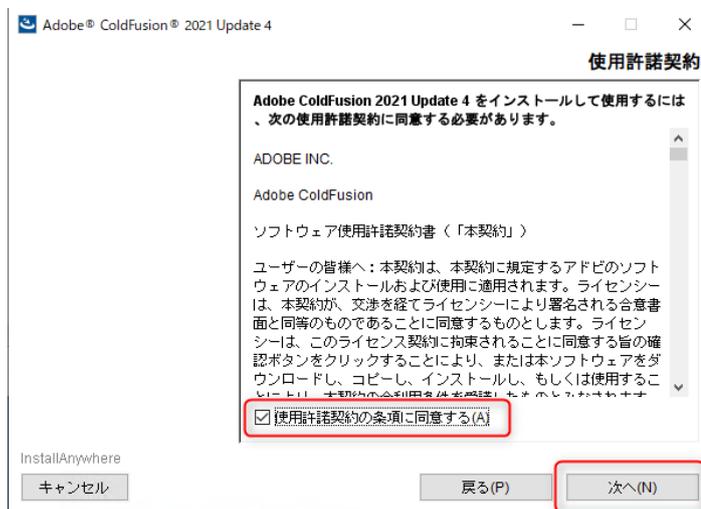
- ② コマンドプロンプトを開き、update を起動
ex) C:/ColdFusion{version}/jre/bin/java.exe -jar C:/ColdFusion{version}/bundles/updateinstallers/hotfix_X.jar



- ③ **OK** ボタンを押下



④ 次へボタンを押下

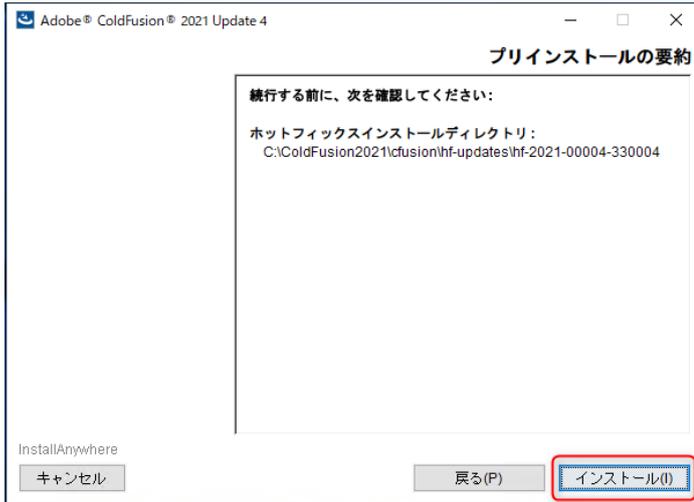


⑤ 使用許諾条約に同意するにチェックし、次へボタンを押下



⑥ 次へボタンを押下

⑦ **インストール** ボタンを押下





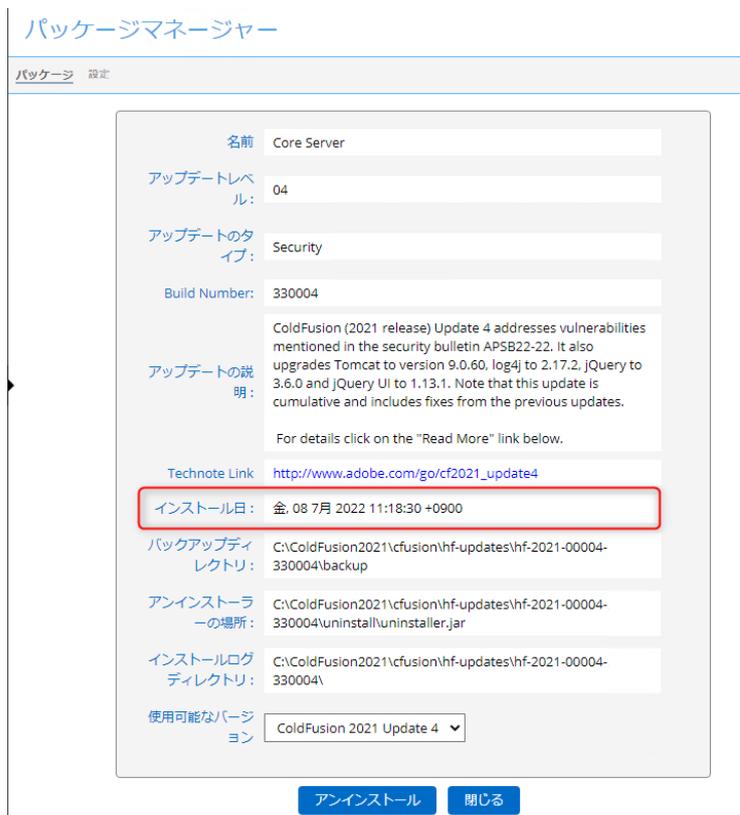
- ⑧ ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

➤ユーザー名： **admin**
 ➤パスワード： **Admin_1995**

メモ アップデート中に、ColdFusion サービスが再起動しており、直ぐにログインできない場合があります。1~3 分後に再度ログインをお試し下さい。

- ⑨ メニュー内の[パッケージマネージャー]をクリックし、メニューを展開します。

- ⑩ インストールしたアップデート内容が表示されることを確認します。



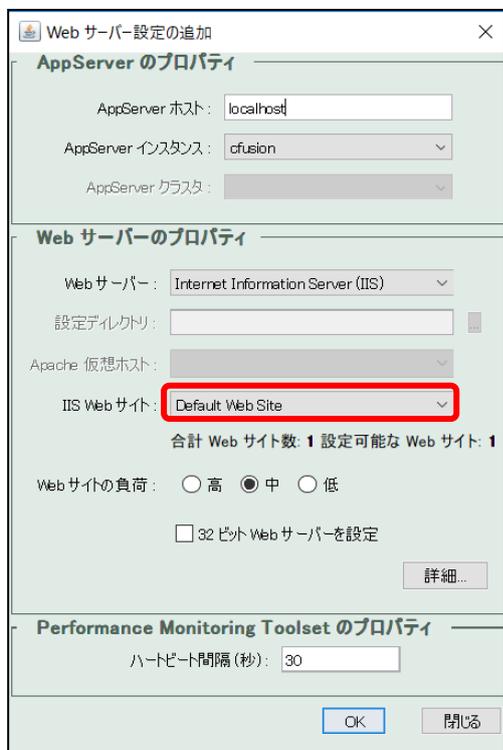
4.7 ColdFusion と IIS とを接続する

Web サーバー設定ツールを実行します。

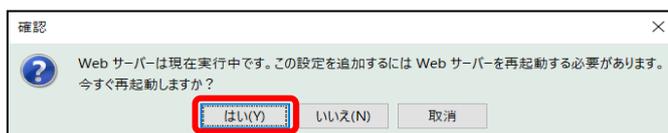
- ④ 下記フォルダの「wsconfig.exe」を実行します。
C:\¥ColdFusion2021¥cfusion¥runtime¥bin



- ⑤ 追加ボタンをクリック



- ⑥ IIS Web サイトを Default Web Site に変更し、**OK** ボタンをクリック

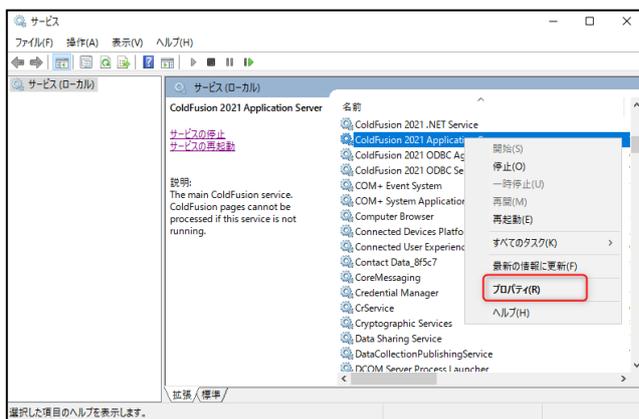
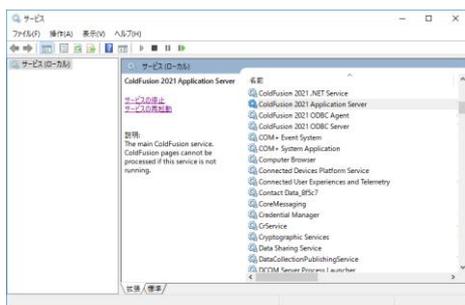
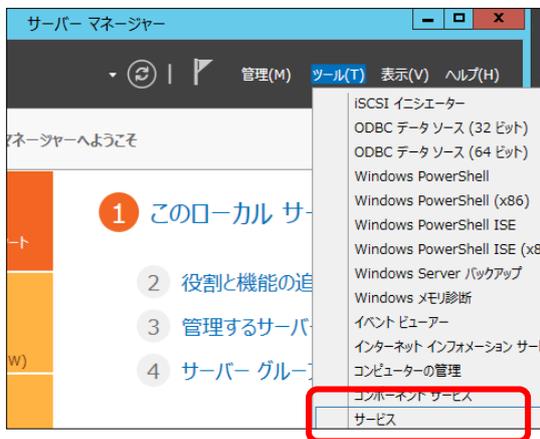
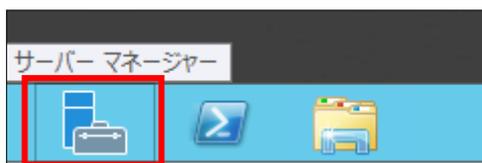


- ⑦ **はい** ボタンをクリック



- ⑧ 追加されていることを確認し、**終了** ボタンをクリック

4.8 ColdFusion サービスのログオンアカウント設定



① タスクバーの[スタート]—[管理ツール]—[サーバーマネージャー]をクリックして起動します。

② サーバーマネージャーの[ツール]—[サービス]をクリックします。

③ Windows サービス一覧画面が表示されます。

④ ColdFusion Application Server を選択します。

⑤ ColdFusion Application Server を右クリックします。表示されたメニューより、プロパティをクリックします。



⑥ 表示された ColdFusion Application Server の設定画面のログオンタブを選択します。

「ローカルシステムアカウント」から「アカウント」へ変更します。

アカウントにチェックをつけ、下記の項目を入力します。

- アカウント→ozo3
- パスワード→アカウント作成時に指定した任意のパスワード

⑦ **OK** ボタンをクリックします。

4.9 ManageOZO3 へのアクセス確認

ブラウザを起動し、ManageOZO3 にアクセスします。

ManageOZO3 のログイン画面が表示される事を確認します。

ManageOZO3 のログイン画面が表示されない場合、トラブルシューティング「ColdFusion 2021 インストール後から ManageOZO3 が表示されない」を参照ください。

5 ライセンスの登録

5.1 ライセンスの登録

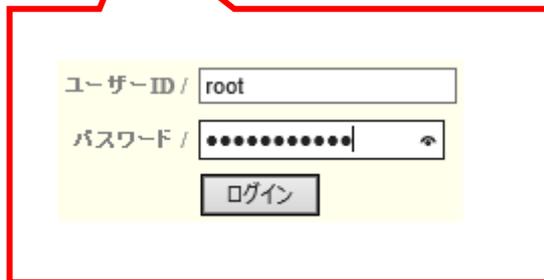
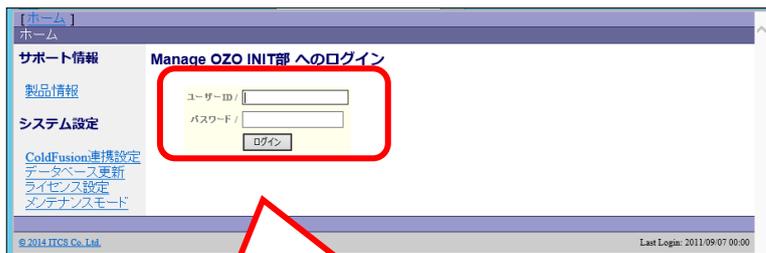
- ① [INIT 部]設定画面を表示します。



メモ 上記で設定画面が表示されない場合やデスクトップにアイコンが無い場合は、下記 URL を入力します。

➤ URL: <http://127.0.0.1/ozo3/Initial/default.cfm>

- ① デスクトップにある [InitPage] アイコンをクリックし、[INIT 部] 設定画面を表示します。

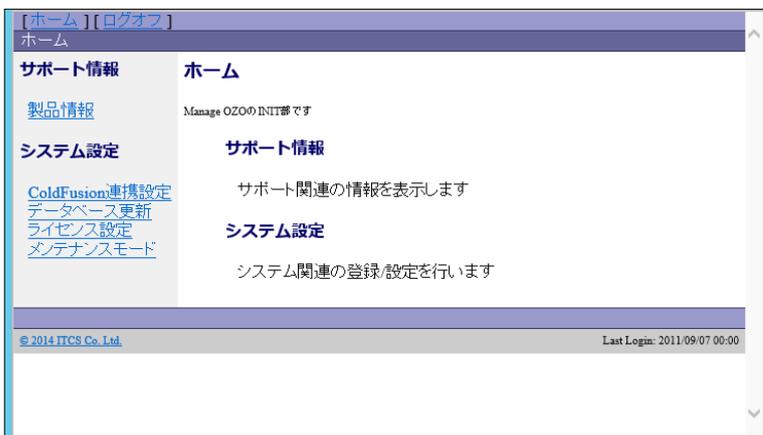


- ② [ManageOZO3 INIT 部] ログイン画面が表示されます。下記を入力し、**ログイン**をクリックします。

➤ ユーザーID : root

➤ パスワード : Thunderbird

- ③ [INIT 部] 画面が表示されます。





- ④ [システム設定] メニューから [ライセンス設定] をクリックします。
[ライセンス設定] 画面が表示されます。

メモ 登録を行うライセンスキーは、ライセンス証書を確認してください。



- ⑤ 各アプリケーションのライセンス番号を入力し、**登録**をクリックします。

メモ 登録は1つのアプリケーションごとに行います。ライセンス番号をすべて入力したあとに、**登録**をクリックしても、登録されるライセンス番号は、クリックした登録ボタンの欄にあるアプリケーションだけです。

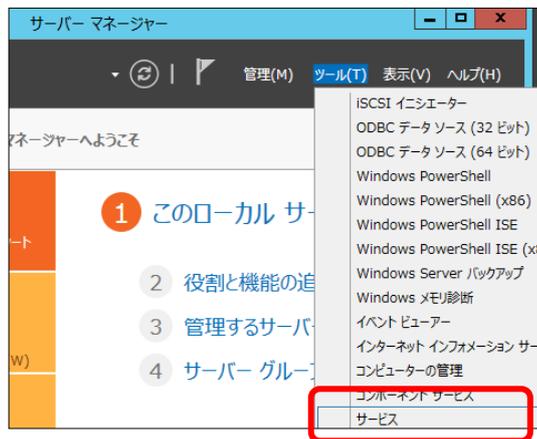
メモ [登録済み]と表示されている場合は、[再登録]を押下してライセンスを登録し直してください。

6 ColdFusion2018 の削除

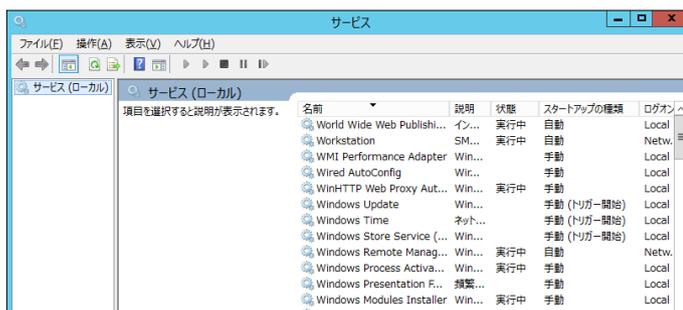
6.1 ColdFusion2021 サービスの停止



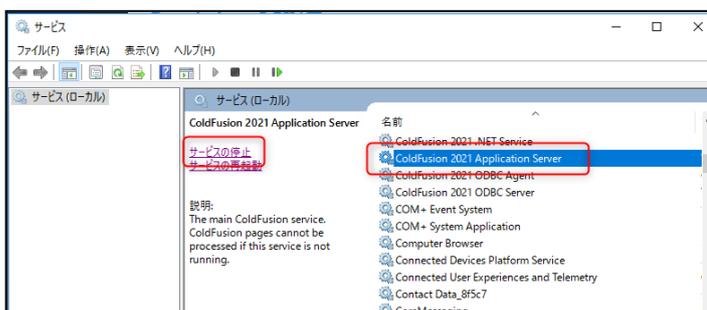
① タスクバーの[スタート]-[管理ツール]-[サーバーマネージャー]をクリックして起動します。



② サーバーマネージャーの[ツール]-[サービス]をクリックします。



③ [サービス] 一覧画面が表示されます。

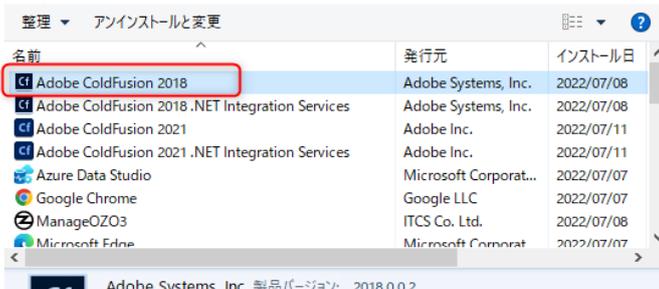


⑩ サービスの一覧から「ColdFusion2021 Application Server」を選択し「サービスの停止」をクリックします。

6.2 ColdFusion2018 の一時フォルダーの削除

C:\¥ColdFusion{version}¥cfusion¥runtime¥work¥Catalina フォルダを削除します。
※ご利用状況によりファイル数やサイズが多く、削除に時間が掛かる場合があります。

6.3 ColdFusion2018 のアンインストール

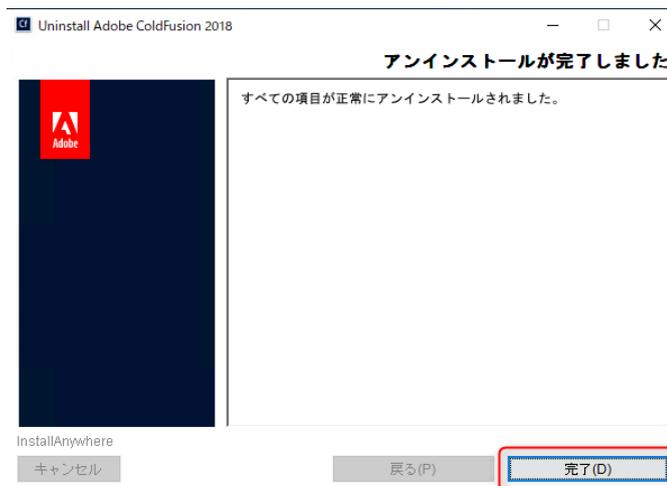


① コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」を選択します。
※「プログラム > プログラムと機能」からも開けます。

② Adobe ColdFusion2018 をクリックします。



③ アンインストールと変更ボタンをクリックします



④ 完了ボタンをクリック

6.4 ColdFusion2018 のフォルダーの削除

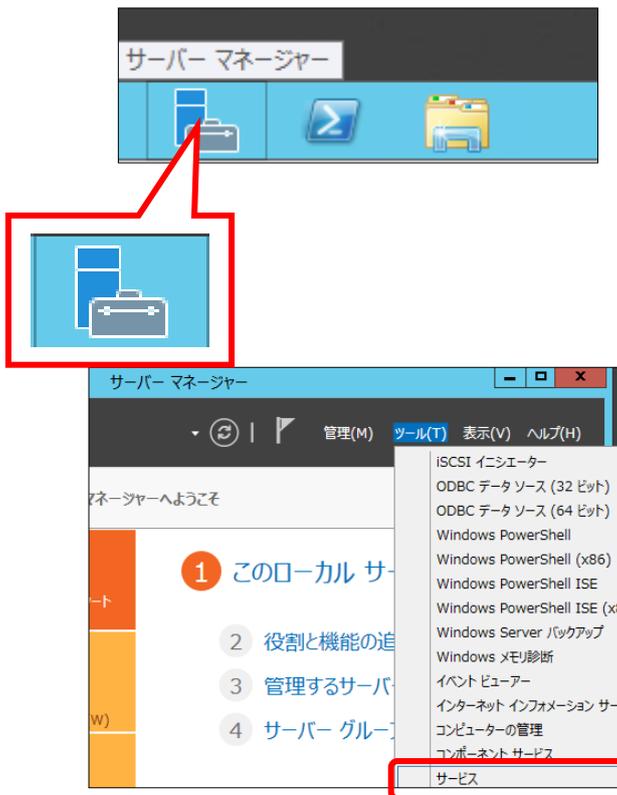
C:\¥ColdFusion2018 のフォルダを削除します。

※C:\¥ColdFusion2021 のフォルダを削除しないよう注意してください。

6.5 Web サーバーの再起動

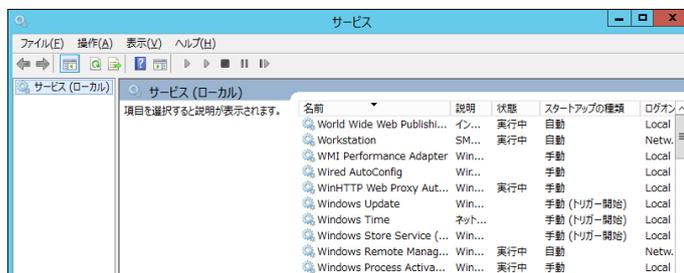
Web サーバーを再起動します。

6.6 ColdFusion2021 サービスの起動

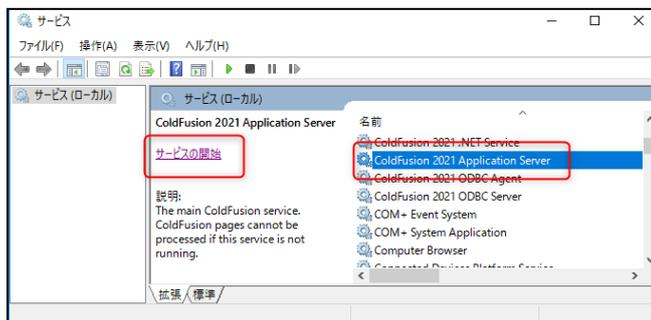


➤ タスクバーの[スタート]—[管理ツール]—[サーバーマネージャー]をクリックして起動します。

➤ サーバーマネージャーの[ツール]—[サービス]をクリックします。



➤ 「サービス」一覧画面が表示されます。



④ サービスの一覧から「ColdFusion2021 Application Server」を選択し「サービスの開始」をクリックします。

7 動作確認

7.1 ManageOZO3 へのアクセス確認

ブラウザを起動し、ManageOZO3 にアクセスします。

ManageOZO3 のログイン画面が表示される事を確認します。

ManageOZO3 のログイン画面が表示されない場合、トラブルシューティング「ColdFusion 2021 インストール後から ManageOZO3 が表示されない」を参照ください。

7.2 スケジュールの再登録

スケジュールの再登録を行います。

ご利用のアプリ・機能に応じてスケジュールの再登録を行ってください。

- ・ [勤怠運用設定]－[アラート通知設定]－[スケジュール設定]
- ・ [勤怠運用設定]－[自動更新設定]－[スケジュール設定]
- ・ [タイムレコーダー設定]－[スケジュール設定]
- ・ [タイムレコーダー設定]－[アマノタイムレコーダー設定]－[スケジュール設定]
- ・ [ワークフロー]－[アプリ設定]－[定期処理設定]
- ・ [ERP ユーザー情報連携]－[スケジュール設定]
- ・ [業務ナビ]－[管理]－[実行依頼設定]※業務ナビのみ、各設定の即実行を押下
- ・ [システム運用設定]－[運用管理]－[CSV 操作]－[CSV 一括登録設定]
- ・ [マスタ予約]－[反映処理]－[反映実行]
- ・ [入退差異管理]－[管理]－[取込み設定]

8 トラブルシューティング

8.1 ColdFusion2021 インストール後から ManageOZO3 が表示されない

ManageOZO3 ログイン画面にアクセスした際に表示されたエラー画面を確認し、下記の手順を行ってください。

8.1.1 HTTP エラー404.3-Not Found の場合

HTTP エラー 404.3 - Not Found

拡張構成により、要求しているページは使用できません。ページがスクリプトの場合は、ハンドラーを追加します。ファイルをダウンロードする場合は、MIME マップを追加します。

可能性のある原因:

- ハンドラー マッピングが存在しない可能性があります。既定では、静的なファイルハンドラーですべてのコンテンツが処理されます。
- 使用する機能がインストールされていない可能性があります。
- 適切な MIME マップが Web サイトまたはアプリケーションに対して有効化されていません (警告: .ASPX ページ や .config ファイルなど、ユーザーがダウンロードできないコンテンツに対する MIME マップは作成しないでください)。
- ASP.NET がインストールされていない場合。

ColdFusion2021 と IIS との接続が行われていない可能性があります。

「4.5 ColdFusion と IIS とを接続する」を参照し、IIS との接続されているか確認してください。

接続が行われている場合も、接続の削除後に再接続をする事で解決する可能性がありますので、お試しください。

8.1.2 Service Temporarily Unavailable の場合

Service Temporarily Unavailable!

The server is temporarily unable to service your request due to maintenance downtime or capacity problems. Please try again later.

Tomcat/ISAPI/isapi_redirector/1.2.46

Copyright © 1999-2018 Apache Software Foundation
All Rights Reserved

ColdFusion2021 のサービスが起動していない可能性があります。

「5.5 ColdFusion2021 サービスの起動」を参照し、ColdFusion2021 のサービスが起動していることを確認してください。

※サービスが競合している場合があります。

「ColdFusion2018」から始まるサービスは停止している。ことを確認してください

8.2 問題解決できない場合

問題が解決できない場合は、大変お手数ですがヘルプデスクまでご連絡下さい。
その際、原因調査の手がかりとなる下記情報も合わせてご送付下さい。

- C:\ColdFusion2021\cfusion\logs
migration から始まるファイル
application から始まるファイル
exception から始まるファイル
dbexception から始まるファイル
ozolog から始まるファイル
- C:\ColdFusion2021\cfusion\runtime\logs
coldfusion-event.log
coldfusion-out.log
- 操作内容
具体的にどのような操作を行った際にエラーとなったか、ご連絡ください。
- エラー内容
画面にエラー情報が表示される場合、エラーの内容をご連絡ください。